

ジェンダー川柳づくり

5文字を作るグループ・7文字を作るグループを決め、それぞれ5文字・7文字の単語を書き出します。

その単語を組み合わせ、全体で、5・7・5の川柳作品に仕上げます。

気持ちを言葉に・・・

「言語化することで考えが整理される。やがて政策も書けるようになる」

by萩原なつ子男女共同参画・共生社会推進統括アドバイザー

男性の参加を促す！
(料理教室)

【交流】自己実現する場（料理教室）

【地域】ツール、ハウツーの提供

【学び】60代以上の人材を活用

シニアの知恵

身内だと反発

愛育会、保健師

子育て体験、命の授業（中学生、高校生）

→都留市でも興譲館高校共催で愛育会の方がサポート実施している

パパママ教室（おむつ替え、授乳、入浴、離乳食）

家事（料理教室、洗濯干し、たたむ、アイロン）

【人材育成】次世代を育てる

人権教育→ジェンダー平等、多様性の容認

主権者教育→新しい政治の担い手→社会の変革

【利便性】子育て中の親がゆったり過ごせる場所（輝ける）

育児システム→安心して講座に参加

<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びの場所 ・ 男女共同参画の活発な情報発信 ・ 趣味などを活かし自己実現する場 	交流促進支援→様々な世代、立場（障害のある方）で活用してもらえる場所
	相談対応→困難をかかえる人
	楽しそう
	経験談を聞く
	講演を聴く
	男性も参加！！
	ぴゅあ富士が中心に横のつながりを
	“男女”→名前の変更
	利便性の向上
	趣味を活かす場
わかりやすいHP	
楽しむぞ！！いい会だ！！手を繋ごう！！	

- ・情報の提供の場
- ・同じ思いをつなげる場
(事、物、その他)

楽しくする場

人材の活用、人材育成

色々な特徴を持った人が勉強会をする

興味につなげられる場

継続

波動の時代

交流

世代の参加促進

世代間交流の場

団体活動に参加するきっかけ

若い世代の集客

企画の充実、工夫

地域課題、地域課題の把握

自己実現

相談

情報発信

多様な支援体制

地域・活動団体の人と人をつなぐ場所

男女共同参画に関心のある人々の心の拠り所

楽しく使用

60代以上の人材を活用

利便性の向上

セミナーを開催したい

各種団体活動との共有

他地域との交流の場

学びの場所

楽しいな！かたろうよ！あつまろう！

男性の参加

真面目な話し合いだけでなくイベント+α（例：料理、運動、グランドゴルフ）

男性料理教室

女性役員は少ない

自治会長、PTA男性多し（都留、大月）

長：男／副：女→暗黙の了解的な

「女性だってよいですよ...」って。

地域課題の解決

相談窓口

活動拠点

人材育成

【ぴゅあ富士を元気にする川柳】

これからは たのしもう だんせいの とびだすぞ ちゃのみかい おんなでも

男女共同参画情報の
活発な情報発信
(若い世代を集客)

意識改革

男性の参加を促す

地域活動、団体の人と人をつなぐ場所（交流・活動）

職場の考え方を变える、改革

利便性（交通便）

相談窓口

男女共同参加活動拠点

県民アクションを支援する場所

60才以上の人材活用

学びの場所

60才以上の人材を活用（時間の余裕があり経験知が高い）
様々な世代、立場で活用してもらえる場
地域課題の把握、掘り下げ、解決に向けた取り組み
地域の特性を把握（アンケート調査、要望等で）
相談窓口
利便性の向上
託児システム（安心して講座に参加）
楽しく気軽に使用できる場（子育て中の親がゆったり過ごせる場所）
利便性の向上（交通の便、シャトルバス）
心の拠り所、活動拠点
趣味などを活かし自己実現する場
わかりやすいホームページ

川柳を作りました！

これからは、力を合わせ楽しむぞ
輝ける職場改革楽しいな
茶飲み会意識改革いい会だ
笑い顔伸ばせ可能性語ろうよ

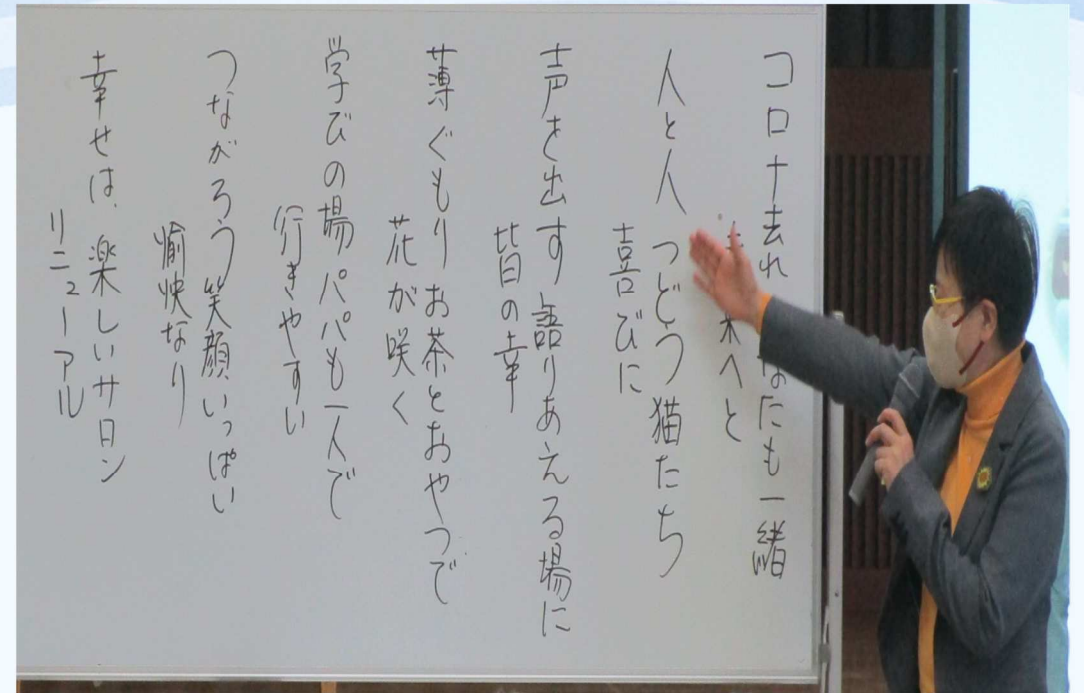
ワールドカフェin やまなしpart2

日時 令和5年2月18日(土)
午後2時30分

場所 甲府東公民館

テーマ ぴゅあ総合の未来・可能性
を語ろう





川柳できました！

理想のぴゅあには・・・

若い世代の参画、情報発信の重要性、人材育成→女性リーダーなど

様々な意見が出ました。

人と人をつなぐ場の提供	図書館と同じ感覚で使える飲食を伴う場所
	動物も連れて行ける場所
	自由な空間（趣味、遊び等々）
情報発信	フリードリンク、チョコレート提供、つながる場
	若い人（10代～30代）に来てもらえるような工夫
	若い人に発信してもらう 利用者側からの発信

若い世代の参加促進	県民のアクションを支援する場
	子ども向け講座＋大人向け講座交流会
	若い人のポスト（自治会）をつくる
	子ども食堂・防災食など
	防災子ども向け講座
	災害とジェンダー

男性と若い世代の参加を促す	言葉のニュアンスを変える（男女共同参画→共生・共存）
	趣味の会をする（料理やワイン会等）
	地域の推進リーダーには男女が入っているのでまずその人から
	みんなでスーパーへ行く
	仕事を年代別に紹介する

LGBTQ・様々な世代・
立場・性別・障害の人が
出会い・学び・交流する場


不安、困った、どうしようを素直に言える世間に
語り合えるサロン
子育て中の方も子連れでゆっくり出来る場
ハード面の充実した施設、オンライン対応、低料金で利用できること
人的リソース、コミュニティマネージャー
多種多様な人々が集まり交流することで科学反応が生まれる

人材育成
(特に女性リーダー)

男性参加
地域課題（小さな時から全体幸福、社会を考えるような家庭教育、
公教育は必要）
地域活動団体をつなぐ場づくり（趣味等を生かす）
相談員に正規職員を
託児システムは必要
できる人がやさしい事から示す

ぴゅあの可能性・未来

県・センターに専門人材やかじとり役が必要
意見のある人から意見を聴く
県の縦割りをなくし相互援助の関係を
現場の声、異文化交流
居場所になる

A stylized landscape illustration. On the left, a green hill features a flower with a dark purple stem and several large, overlapping petals in shades of purple and pink. At the base of the flower are several orange and brown circular shapes. The background consists of rolling green hills in the foreground and a sky with horizontal wavy bands of blue and white. The text is centered in the middle of the image.

女性団体協議会の皆様と

女性団体協議会の 皆様と

日時 令和4年9月9日(金)

午後1時30分

場所 山梨県青少年センター

テーマ 山梨県の男女共同参画推進
について





班ごとに
発表しました。

明日からすぐに

できること!



女性団体協議会の 皆様と(第2回)

日時 令和4年11月25日(金)
午後1時30分
場所 山梨県青少年センター

テーマ みんなでジェンダーを語るじゃ
んけ、しゃべるじゃん!



女団協～各班のメインテーマとすぐできること～

- 家庭から意識改革を
- まず言葉遣いから
- まずは家庭での男女平等
- 家庭の中での役割を見直す

夫婦間の協働、
共同参画意識(家
事も地域行事)

組長を
当番制に

パートナーと
いう言葉を
広めていく

なんでも
感謝

夫婦で
別会計

面倒くさいと
思わず夫に
教育

班ごとに

詠んだ


五文字

七文字

川柳に

川柳一覧

- ① 家庭から 共に清掃 ありがとう
- ② パートナー 男いばるな やる気出せ
- ③ おーいお茶 名前を呼んで お互いに
- ④ ご飯まだ 共に料理 できるはず
- ⑤ 食べたいな 楽しく過ごす いつの世も
- ⑥ お嫁さん 夫に教育 できるかな
- ⑦ 見直そう ジェンダー平等 地域から
- ⑧ 「さん」で呼ぶ 恥ずかしがらず 愛してる
- ⑨ 勇気出せ 嫌な役割 男性に
- ⑩ おいお前 犬より私 呼んでみる
- ⑪ 本音吐く 様々な家庭 自分でやれ



やまなしえるみんな企業
一堂に会するのは
初めてです。



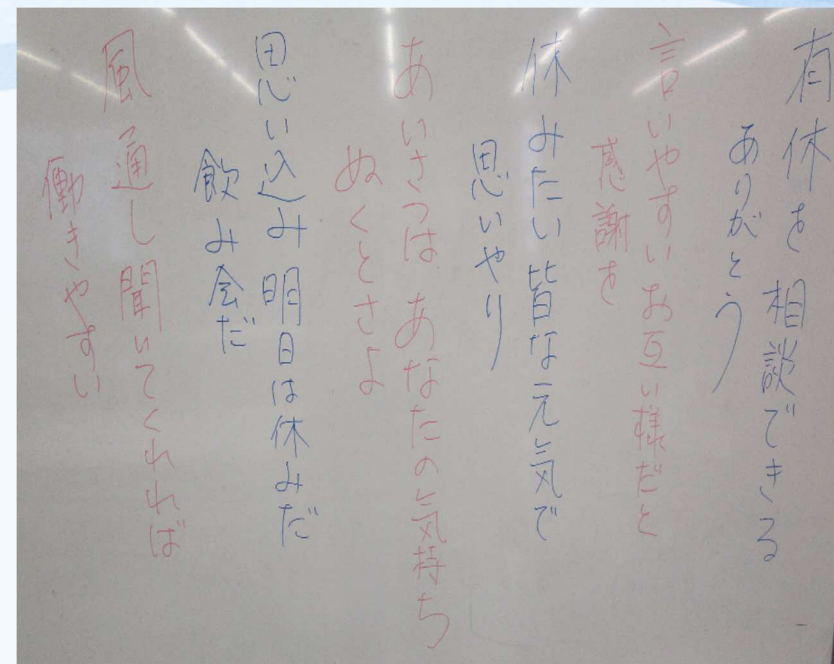
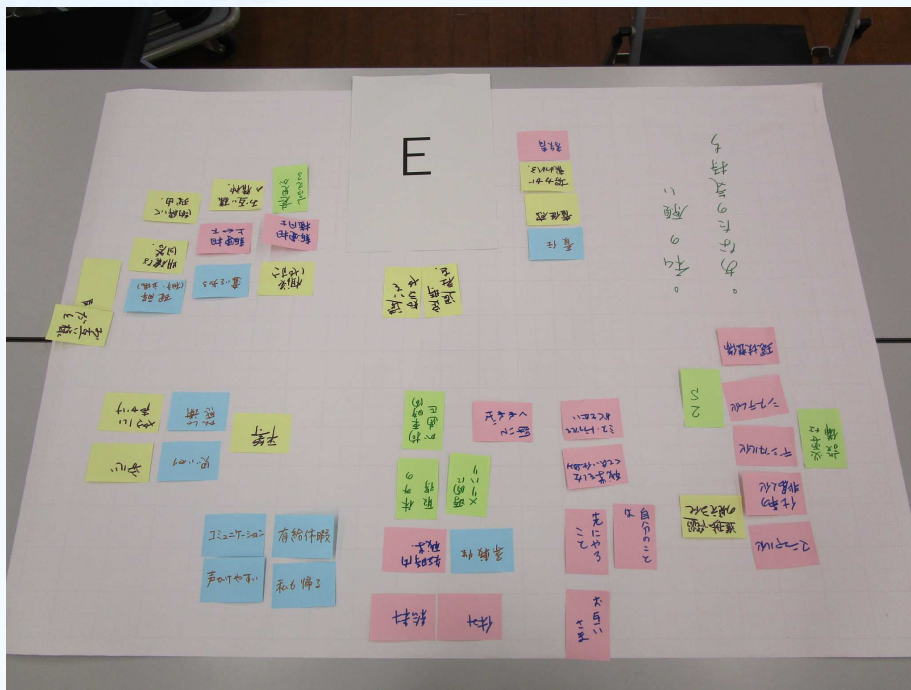
山梨えるみんな 認定企業の皆様

日時 令和5年2月19日(日)

午前10時

場所 やまなしプラザ

テーマ withコロナ時代における
多様な働き方と企業成長の
可能性を考える



名刺交換から始まり、働きやすい職場に必要なことは何か、グループごとにまとめました。

それぞれ5文字・7文字作成グループから出た単語から川柳が！

労働環境	多様な勤務形態の導入（勤務時間の選択、短縮）
	休暇の取得しやすさ（育休等様々な休暇が自由に、遠慮なく取得できること）
	業務の可視化、工程の見直し
	安心して労働ができる環境（安全性）
	テレワーク等場所にとらわれず勤務できること
	多様なメンバーがいる
	人員を充足する
	適正な給与
	残業がない若しくは少ない（周囲を気にせず退社）
	明確な回答と納得いく理由の提示
	考える時間
	脱属人化

意識改革	社内の風通しの良さ（役職問わず意見や注意のしやすい関係性）
	当事者意識を持つ
	固定観念にとらわれず、柔軟に受け入れる姿勢（上層部は特に）
	思いやりや感謝の気持ちを持ち、言葉にして伝える（コミュニケーション）
	平等であること（年齢、性別、立場、役職問わず）
	相手の立場になり考える（相手を知る）
	責任感を持つ
	受け止める
	お互い様の精神
	笑顔
	和

利便性	通いやすさ（交通の便の良さ）
	デジタル化、システム化、マニュアル化
	必要な設備が充実していること

相談対応	日頃から相談しやすい仕組みや環境が整っている（ミスやトラブル発生時に報告できる）
	健康管理体制の整備
	心理的安全性

交流・支援	考えや情報を共有する場がある（共感）
	コミュニケーションの必要性（あいさつ、声掛けも積極的に）
	フォローアップ体制の構築（きめ細やかなフォロー、バックアップ体制）
	個人に合わせた業務の配分、分掌の見直し
	教育の充実、徹底（研修等）
	努力が報われる（評価制度）
	安全なこと
	報・連・相（上・下）（横）

川柳を作りました！

有休を相談できるありがとう
言いやすいお互い様だと感謝を
休みたいみんな元気で思いやり
あいさつはあなたの気持ちぬくとさよ
思い込み明日は休みだ飲み会だ
風通し聞いてくれれば働きやすい

講演会

日時 令和5年3月17日(金)
午後2時30分

場所 山梨県立図書館

テーマ とともにめざそう
ウエルビーイングな山梨

※職場、自宅などから

オンライン参加あり



令和4年度 やまなし交流サロン

ともにめざそう ウェルビーイングな 山梨へ

WELL-BEING
YAMANASHI

2023

3/17 (金)

14:30~

県立図書館1階
イベントスペース西面

一人ひとりが心も体も健康で幸せであるために、これからの「ウェルビーイング」な山梨を、男女共同参画の視点で考えよう！

講師：萩原なつ子さん

山梨県男女共同参画・共生社会推進統括アドバイザー
独立行政法人 国立女性教育会館理事
認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター代表理事

開催日 令和5年3月17日(金) 14:30~16:00

会場 山梨県立図書館 1階 イベントスペース西面

定員 会場50名 オンライン50名

参加無料

●交流サロンとは

県と関係団体が緊密に連携するとともに、幅広い県民の男女共同参画意識に関する意識を高めるため、今年度定期的に開催しました。

みんなが山梨の
男女共同参画の未来を考えた
令和4年度「交流サロン」
の集大成！



●参加方法

裏面の必要事項をご確認のうえ、QRコード、FAX、メールにてお申し込みください。会場限定的のため、必ず事前の申込が必要となります。なお、定員になり次第、締め切ります。

●お申し込み お問い合わせ

山梨県 男女共同参画・共生社会推進統括
お電話 055-223-1358 055-223-1320 danjo-kyosei@pref.yamanashi.lg.jp

今年度最後の交流サロンを、講演会形式で開催しました。

